

フィットハウス小牧店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

臨時駐車場(道路を挟み敷地南側)を正式に届出、駐車台数を増加する。
また、年間90日間について閉店時刻を午後8時から午後9時までに繰下げ、来客駐車場利用時間を午後9時30分までとする。(法第6条第2項)

届出事項

1	届出年月日		平成16年4月22日	
2	店舗名称		フィットハウス小牧店	
	店舗所在地		小牧市大字二重堀字上池189-1	
3	変更をする日		平成16年12月23日	
4	届出事項	変更前	変更後	
(1)	設置者	名称	株式会社フィットハウス	
		代表者	代表取締役 吉田 健治	
		住所	岐阜県可児市下恵土868	
		備考	なし	
	小売業者	名称	株式会社フィットハウス	変更前に同じ
		代表者	代表取締役 吉田 健治	同
		住所	岐阜県可児市下恵土868	同
		備考	なし	同
(2)	店舗面積	1,972 m ²	同	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		台数	108 台	138 台
	駐輪	位置	別紙図面のとおり	変更前に同じ
		台数	52 台	同
	荷捌	位置	別紙図面のとおり	同
		面積	184.9 m ²	同
	廃棄	位置	別紙図面のとおり	同
		容量	12.96m ³	同
(4)	営業	開店時間	午前10時	同
		閉店時間	午後8時	午後8時(年間90日午後9時)
	駐車場利用時間帯	午前9時30分から午後8時30分まで	午前9時30分から午後8時30分(年間90日午後9時30分)まで	
	駐車場	出入口数	3箇所	5箇所
		出入口位置	別紙図面のとおり	縦覧による
	荷捌時間帯	午前9時から午後5時まで	変更前に同じ	
業態	住・生活関連品専門店			
用途地域	第1種住居地域			
参考	平成15年3月新設(平成14年5月9日・法第5条第1項届出)			

I 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 駐車場の必要台数の確保

ア 指針による算出

店舗面積	日來客数 原単位	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分 担率	平均乗車 人員	平均駐車時 間係数	指針必要台 数
1,972 m ²	1040.84	15.70%	300 m	75.00%	2.00 人	0.68	82 台

総駐車場台数	−	従業員等駐車場台数	−	付帯施設駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
172 台		34台		0台		138 台	○

フィットハウス小牧店

② 駐車場の位置及び構造等

1 平面自走オベレーター無	2 平面自走オベレーター有	3 機械式駐車場	4 共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	121台

ア 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	108台	歩行者導線	分離	騒音配慮	騒音防止看板設置	排ガス配慮	アイドリングストップ看板	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	2箇所	市町村道	16m	121台	45m	0箇所	双方向	双方向	0m	○	
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	1箇所	市町村道	6m	予測なし	5m	0箇所	双方向	双方向	0m	-	
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
警備員の配置 配備なし											

第2 駐車場	種別	1	収容台数	50台	歩行者導線	非分離	騒音配慮	なし	排ガス配慮	なし	判定
	出入口数	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	左折入庫	左折出庫	駐車待スペース		
東	1箇所	市町村道	16m	予測なし	25m	0箇所	双方向	双方向	0m	-	
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北	1箇所	市町村道	6m	予測なし	14m	0箇所	双方向	双方向	0m	-	
警備員の配置 配備なし											

評価	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
	○	○	○	○

③ 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	184.9㎡	あり	20分	2台	2台	○

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00~10:00	1台	17:00~18:00	12:00~13:00	単独テナント	2台分	○

④ 経路の設定等

(1) 車両関係

ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
有	必要なし	回避	回避	有り	無し	有り

イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
有り	有り	非配備

ウ 公共交通機関関係

駐車場の確保
バス停なし

エ 市町村事業関係

パークアンドライド事業への協力
事業なし

評価
○

(2) 歩行者通行関係

通抜可能通路の保持	通行妨害施設	夜間照明の設置
必要なし	無し	配慮あり

評価
○

フィットハウス小牧店

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	無	無	来客車両	無	無	-
西方向	38 m	60 m	室外機	無	無	-
南方向	14 m	無	室外機	無	無	-
北方向	3 m	無	来客車両	無	無	-

遮音壁の悪影響	遮音壁設置なし	評価
		○

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	屋内化
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、早朝、夜間の荷さばき作業禁止
荷捌施設機器選択面での配慮	無
放送設備使用面での配慮	緊急用であり日常は使用しない

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	低騒音タイプの機器を選定
給排気口からの騒音配慮	無
駐車場からの騒音配慮	アイドリング等を行なわないよう看板表示
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	キュービクル	1	空調室外機	12										
	変動騒音	ゴミ収集作業	○	荷さばき	○	自動車走行	○	BGM	○						
	衝撃騒音														
建物の構造(高さ)		鉄骨造2階建(9.0m)													

ア 等価騒音レベル予測

	北③	北④	西②	南①	西(予測点1)	
用途地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	
昼間基準値	55 dB	55 dB	55 dB	55 dB	55 dB	
夜間基準値	45 dB	45 dB	45 dB	45 dB	45 dB	
設置者	昼間等価騒音レベル	51.0 dB	34.2 dB	47.2 dB	48.8 dB	47.3 dB
	評価	○	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	31.9 dB	14.1 dB	16.9 dB	16.2 dB	-
	評価	○	○	○	○	-
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	-

イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無	有	
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か		
上記A・Bの具体的内容	店舗東側25mに小学校	
	北	
用途地域	第1種住居地域	
基準値を5dB減ずる要因	なし	
基準値	40dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	34.7dB
	評価	○
県	定常騒音の騒音レベルの騒音レベル検証	妥当

キュービクルによるもののみ。

フィットハウス小牧店

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	悪臭を放つものを取り扱わない
衛生問題関係配慮	同上

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	8.00 m ³	1日	0.49 t	0.10 t/m ³	4.93 m ³	変更なし	○
空缶・空き瓶	1.97 m ³	1日	0.07 t	0.10 t/m ³	0.73 m ³	変更なし	○
厨芥・その他	0.00 m ³	0日	0.19 t	0.15 t/m ³	0.00 m ³	変更なし	○
合計	9.97m ³	-	-	-	5.66 m ³	-	○
保管日数の設定根拠		既存の実績に基づく					
見かけ比重変更の理由		変更なし					
指針と異なる算定式の使用		変更なし					

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	無
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	無
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	無
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

位置・構造	適正な分別の実施		分別廃棄を実施	
	搬出作業の利便性の確保		従業員駐車場内にあり店専用として利用できる	
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保		悪臭の発生する廃棄物はない	
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施		無	
	生ゴミ保管施設の気密性の確保		無	

十分な搬送頻度の確保	週7回
繁忙期の特別な措置	無
運搬(予定)業者(免許番号)	大成環境株式会社
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	食品加工なし

評価
○

市町村意見の概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案	
意見なし	